

柔 道

- 1 主 催 新潟県中学校体育連盟
- 2 共 催 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会 公益財団法人新潟県スポーツ協会
新発田市教育委員会 新潟県柔道連盟 下越地区柔道連盟 新潟日报社
- 3 主 管 下越地区中学校体育連盟 新発田市中学校体育連盟
- 4 後 援 新発田市
- 5 期 日 令和6年7月13日(土)・14日(日)
- 6 日 程
- | | | |
|--------|----------------|------------------|
| 13日(土) | 代表者・審判会議 | 9:00 |
| | 選手整列 | 9:40 |
| | 開会式 | 9:45 |
| | 競技開始 男女団体戦決勝まで | 10:15 |
| | 競技終了予定 | 16:00 |
| 14日(日) | 代表者・審判会議 | 9:00 |
| | 競技開始(男女個人戦全階級) | 9:45 |
| | 競技終了 | 15:00 |
| | 閉会式 | 15:10 |
| | 会場復元 | 15:40 |
| | 会場復元終了予定 | 16:40(出場校は畳撤去のみ) |
- ※開場時間 7:45 両日とも
- 7 競技会場 新発田市カルチャーセンター
- 8 競技種目 男子・女子団体戦、男子・女子個人戦
- 9 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定、国内における「少年大会特別規定」(いずれも2022年改訂版)、及び日本中体連柔道競技部主催大会申し合わせ事項、本大会申し合わせ事項(教育的配慮事項等)による。また、柔道衣点検で合格した柔道衣を着用し、競技を行う。
- 10 競技方法 (1) 団体戦
- ① 登録人員(男子) 監督1名 コーチ1名 選手5名 補員2名 計9名
(女子) 監督1名 コーチ1名 選手3名 補員1名 計6名
 - ② 試合形式(男子) 選手5名による点取り方式とする。
(女子) 選手3名による点取り方式とする。
 - ③ 試合時間は3分間とし、決勝トーナメントにて代表戦3分間で決着がつかない場合、時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア、以下表記:GS)で決定する。
 - ④ 審判は1人審判制で行う。ただし、3審制で行う場合もある。
 - ⑤ 試合方法
ア 男子団体戦
4チームずつの4グループに分けて予選リーグを行い、各グループの1位、2位チームを予選通過とする。予選通過の8チームにより決勝トーナメントを行い、順位を決定する。この際シード制をとり、予選同グループのチームは決勝まで対戦しないようにする。決勝トーナメント組合せは専門部であらかじめ決定する。
イ 女子団体戦
トーナメント戦とする。ただし、地区大会結果を考慮し、シード制をとる。組合せは申込終了後、準備会にて抽選を行う。

- ウ 選手編成は、男女ともに体重の最も重い者を「大将」とし、以下順次体重順に編成する。選手を補員に変更し補充する際も、体重順に従って選手を並べ替える。
- エ チーム人員が男子5名（女子3名）に満たない場合においては、不足人員分は「不戦敗」とする。人員不足で対戦する場合、対戦順の早い者の側を空けて、「不戦勝ち」を相手に与える。（先鋒から順に明けていく）不戦勝は、1本勝ちと同等とする。
- オ メンバー登録後に事故者があり、7月15日（土）当日の朝、登録人員に満たない場合は、代表者会議において登録メンバーの補充を申し出ることができる。選手補充にあたっては、当該校長、または当該地域スポーツ団体責任者の発行した選手変更届（事前に専門部より配付）を代表者会議前に専門部長へ提出する。代表者会議後のメンバーの補充は認めない。
- カ 事故等により試合を一度退いた選手は、その後の団体戦には出場できない。ただし、2日目の個人戦には出場できる。
- キ 計量で同一体重の選手がいた場合は申込時の配列で試合を行う。よって、捕員を含め必ず体重差がわかるように申し込むこと。
- ⑥ 勝敗の判定基準は次の通りとする。
 - ア 勝敗の判定基準は「一本」・「技有」・「僅差」とする。
 - ◎「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技有）が無い、又は同等の場合に「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差以内であれば「引き分け」とする。
 - イ リーグ戦終了後の結果、試合内容が同じ場合は、その試合に出場した任意の選手を選び、試合（3分間）を1回のみ行い、勝敗がつかなかった場合はGSで勝敗を決し、順位を決定する。
 - ウ 決勝トーナメントにおける代表戦は、その試合に出場した任意の選手を選び、試合（3分間）を1回のみ行い、勝敗がつかなかった場合は、GSで勝敗を決する。代表戦の勝敗の判定基準は、個人戦と同様とする。
 - エ 順位決定は次の通りとする。

男子予選リーグ	ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
	イ アにおいて同等の場合は、勝者数の合計による。
	ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
	エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
	オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
	カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する。3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う。
男子決勝トーナメント	ア チーム間における勝ち数による。
女子トーナメント	イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
	ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

（2）個人戦

- ① 試合形式は男女各階級とも16人によるトーナメント方式で行う。原則として同地区の選手が1回戦で対戦しないようにする。ただし、地区順位が低い選手（5位以下）や補充選手については、1回戦から同地区が対戦する場合もある。
- ② 試合時間は3分間とし、延長戦（GS）は無制限とする。
- ③ 勝敗の判定基準は、「一本」・「技有」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無く指導差が1以内の場合はGSにより勝敗を決する。GSにおいて「最初にスコアを得た選手が勝ち」又は「指導差が上回った時点でその選手の負け」となる。
- ④ 両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、GSにより勝敗を決する。さらに両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、次の試合者は抽選で決める。決勝戦の場合は、GSによる再試合を行う。
- ⑤ 準決勝戦敗退選手による北信越大会シード順位決定戦を行う。

11 参加資格

- (1) ① 中学校においては新潟県内の中学校に在籍し、当該校長が承認した生徒。
② 地域スポーツ団体においては新潟県内に所在地を置き、令和5年度内において新潟県柔道連盟を通して、全日本柔道連盟に加盟し、チームとして「団体登録」、競技者として「競技者登録」を済ませていること。また新潟県中学校体育連盟の承認を受けていること。
③ その他詳細については、「令和5年中学校体育大会地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の参加特例における競技部細則（令和5年3月8日「公財」日本中学校体育連盟発出）による。
- (2) ①男子団体戦

新潟地区	下越地区	中越地区	上越地区	実績枠	合計
5	4	3	2	2	16

※実績枠は各地区大会、前年度県新人大会の結果を参考に決定する。

- ②女子団体戦 オープン参加

- (3) 個人戦

- ①男子体重区分

50kg級、55kg級、60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、90kg超級

- ②女子体重区分

40kg級、44kg級、48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、70kg超級

- ③各地区出場枠は、男女各階級とも以下の通りとする。

新潟地区	下越地区	中越地区	上越地区	実績枠	合計
5	4	3	3	1	16

※実績枠は、前年度県新人体重別大会優勝者所属地区から1名とする。

- ④地区大会参加申込時に県大会参加人数に満たない地区・階級がでた場合は、専門部で協議し、補充分を各地区に割り当てる。

- (4) 学年問わず、6ヶ月以上の柔道経験を有する者。

12 計量 及び 柔道衣点検

- (1) 団体戦

- ① 7月13日（土）8:15～8:45に大会会場において行う。
② 計量は1回のみとし、服装はTシャツ、下穿きとする。
③ 計量、柔道衣点検を受けない者は失格となる。

- (2) 個人戦

- ① 7月13日（土）8:15～8:45に大会会場において、団体戦の計量後に行う。ただし、14日（日）8:15～8:45にも計量を行うことができる。13日（土）に合格した者は14日（日）は計量しない。
② 時間内ならば何回行ってもよい。服装は団体戦と同じとするが、全裸などで計測しなければならない場合には、事前に申し出て別室で行うこととする。
③ 計量、柔道衣点検を受けない者、また、個人戦の規定に合わない者は失格となる。
※ 両日とも8:00～8:15を予備計量時間とする。体重計は別に用意する。

- (3) 柔道衣点検

- ① 男女とも計量と同じ場所において行う。
② 規定にあった柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。合わない場合は失格になることもある。
③ ゼッケン（チーム名・名字入り）は、柔道衣に規定通りにミシン等でしっかりと縫い付けて出場する。（下記を参照）

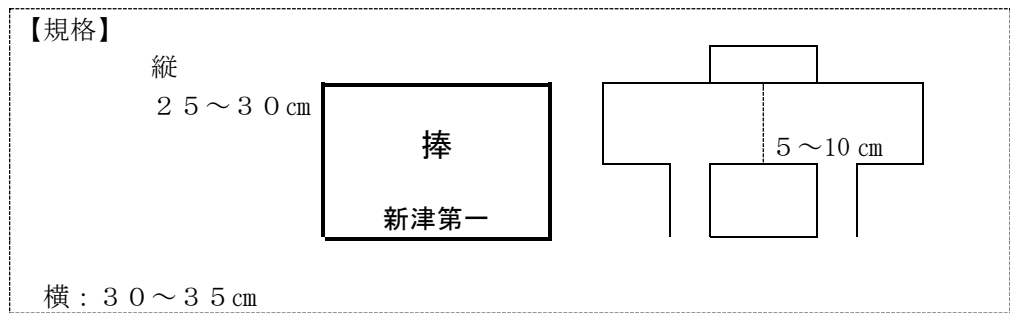
【ゼッケンについて】

ア 布地は白。サイズは横30～35cm、縦25～30cm。

イ 名字は（姓）は上側2/3、チーム名は下側1/3。

ウ 書体は太字ゴシック体（明朝体又は楷書でもよい）、男子は黒色、女子は濃い赤色。

エ 縫い付ける場所は襟の下から5～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。



- ④ 柔道着の胸の刺繍はチーム名もしくは無地とする。
- ⑤ 女子は、上衣の下に白無地半袖丸首シャツ、またはレオタード等（白色）を着用すること。Tシャツのマーキングについては全柔連の規定に準ずる。氏名が入っているものは着用できない。

13 表彰

- (1) 団体戦
 - ① 1位に優勝旗、優勝杯、2位には準優勝杯（長沢杯）を授与する。（持ち回り）また、メダルを授与する。
 - ② 3位まで賞状を授与（個人賞状も与える）。ただし、3位は2チームとする。
- (2) 個人戦
 - ① 各階級上位8位までに賞状、1位にメダルを授与する。
 - ② 準決勝敗退者同士で北信越大会シード順位決定戦を行う。

14 申し込み

地区大会前に下記の必要書類を作成し、地区大会に持参する。出場が決定したチームは地区大会2日目に手続きを完了する。

- (1) 県大会申込書（校長職印または地域スポーツ団体責任者印） **A4版**で印刷
 - (2) 参加料納付書
 - (3) 参加料（1人1,000円）
- 必要なチームは以下の書類を提出する。
- (4) 宿泊申込書
 - (5) 指導者承認書
 - (6) その他、必要書類
 - (7) 県大会参加申込後に監督等を変更しなければならない場合は、「監督変更願」を事前に大会事務局に必ず提出すること。

15 その他

- (1) 本大会は全国大会、北信越大会の予選を兼ねる。
- (2) 男女団体戦1位は全国大会、北信越大会に、2位は北信越大会に出場できる。
- (3) 男女個人戦各階級1位は全国大会、北信越大会に、2位、3位（2名）は北信越大会に出場できる。
- (4) 監督、コーチは、審判員に準じた服装をすること。ジャージ等は認めない。
- (5) 態度の悪い監督、コーチ、保護者がいる場合は会場から退場してもらう場合がある。
- (6) 1日目終了後、審判会議を行う。
- (7) 学校部活動における外部指導者登録については、下記の定めるところにより所定の手続きを行う。

外部指導者は、当該校の校長が認めた者であること。なお、コーチが当該校教員以外の場合は指導者承認書を提出すること。

ただし、中学校教員は他校の外部指導者（コーチ）にはなれない。

- (8) 北信越大会の申込受付、全国大会申込説明を本大会2日目終了後行うので、出場資を得たチームの監督は必ず参加すること。
- (9) 大会2日目に会場復元を行います。その際、参加チームは畳撤去作業だけで結構ですので、できるだけ参加して下さい。ご協力をお願いします。